

第 133 号

発行日
2024. 3.18

Super Highway
春闘速報 20

J R 東労組バス関東本部

申 3 号 第 2 回団体交渉 要旨④

組合) 65 歳定年制について、どうかんがえているのか

会社) 定年制に限っての話。そもそも法の話は、65 歳定年制をひくか、65 歳まで再雇用するかという
ものなので、抵触しているとは思っていない。現行の 65 歳の契約延長をきちんと生かしなが
らやっていくという認識は変わっていない。

組合) 21 春闘について、貴側はそのときの時代背景であると言っている。例えば、それを私たちが全
て忘れてしまったといっても、生涯賃金に関わってくる。48 億の赤字だったのはわかるが、私たち
の努力によって黒字が回復していくのであれば、その点を考慮した中で元に戻るならベアでの、
積み立てのようなものを考えていってもらえないか。

会社) 回答はいつもと変わらない。2/4 をどこかで償還するという考えは持っていないし、何度も言う
けど将来にわたって償還するという考えは持っていない。21 年の状態と 24 年の状態は比較に
ならない。その時その時の交渉経緯である。

組合) 会社へ入ってくる人が見るところは決まっている。今の若い世代は、この仕事に就きたいと入
ってくるよりは、内容・賃金・職場環境、こういう春闘で賃上げしていくなかで魅力付けして
いければと考えている。いま生活の中で、子供を育てるにも高齢の方も増えている。内容につ
いてはこれから議論していいものになってほしいが、もっと未来を見られるような、夢
を見させてほしい

会社) 皆さんのいろいろな期待感は、それぞれかもしれない。けれど、その期待に応えるというのは
簡単ではないかもしれない。それでも、うちの会社に居てよかったと言ってもらえるようにし
ていきたい。

組合) 他社の求人広告よりも安いのは残念。

会社) そういう話を聞くのが残念なのは同じ。そうならないようにやっていきたい。

J R バス 関東 で働く 仲間 を 一つ に !